本日は、師匠直伝の近藤ルートを通り大峰山・中山最高峰を経て太子の霊泉を訪ねるコースを田中が案内! 乞御期待!

前4回は、雨の為、今年8~11回目の中止。4週連続の中止 は山を登る会史上初めての出来事。体調不良の田中に天が与え た休息と捉え体調回復に努めたい。9/28 は、初参加4名(高ノ 原の | 嬢、加茂の F 嬢、向日町の | 嬢、長原の K 嬢)、傘寿超6 名【最高齢 W 氏(86)、Y 氏(84)、T 氏(83)、Mo 嬢(82)、 〇・M 両氏(80)】、三重県桑名からの参加者、遅刻参加3名等を 含む82名が参加。遠隔地なので参加者が少ないかと思われた が予想以上の参加者に! 山を登る会33周年記念品を配布。野金 氏の先導で加茂駅を出発、北に向かい恭仁大橋を渡り、くにの みや学習館でトイレ休憩の後、加茂神社を経て海住山寺分岐へ と登って行き、海住山寺参拝 OP 表示の後、更に登り、やがて 鳴子川へと下った。鳴子川渡渉の後、林道を冒険の道へと登っ て行った。山上山で昼食。山﨑氏は遅刻3人の到着を待って案 内、山頂で先頭に合流。田中は続く体調不良に悩まされ、野金 氏に断った後、単独でスマホ片手に鳴子川を下り短縮、三上山 からの下山道との合流点迄登り返し、鳴子谷山三角点を訪ねー 足先(13:00)に棚倉駅にゴール。先頭到着を待った。リーダー 間の連携に齟齬があり、シールの未回収数枚がある事が判明。 野金氏は 13:26 にゴールするや否や木津迄電車で戻りシールを 回収。正に辛苦了!謝々!最後尾中林氏 15:30無事ゴール。 心配した雨は結局一滴も落ちて来ず! 傘寿超6名、初参加4 名含め全員完歩! 素晴らしい!

> 参加費:500円·雨天中止·事前申込不要 •集合時刻厳守!

参加者は日頃の体調管理に十分注意し、自分のペースで怪我や事故のないよう歩いて下さい。参加途中の怪我・損害は当会としては補償しません。各自の責任で楽しく歩いて下さい。 ・・・山歩きは登り優先で楽しく歩きましょう!・・・

1307 回11月09日(日) NG JR 山科駅 9:00集合駅〜毘沙門堂〜小峠〜七福思案処 〜大文字山〜幻の滝〜中尾の滝〜 中尾城跡〜W/C〜出町柳駅

(JR 山科駅へは大阪駅から新快速等で) *詳細野金氏迄

1309 回 1 1 月 3 0 日 (日) NG 神鉄谷上駅 9:30集合駅~炭ヶ谷~石楠花山~展望台~徳川道~桜谷道~掬星台~山門~青谷道~阪急王子公園駅東口

(谷上駅へは三宮から市営地下鉄で) *詳細野金氏迄 1299 回 1 1 月 1 6 日 (日) NG 出町柳駅叡電乗換口9:00集合 駅~茶山~瓜生山~てんこ山~石 鳥居~水飲対陣跡~赤山禅院~叡 電修学院駅(出町柳駅へは京橋から特急 で、阪急は河原町~祇園四条乗換等で) *詳細野金氏迄

1302 回12月07日(日) NG 阪急六甲駅 9:00集合駅~ケーブル下駅~油コブシ~ケーブル上駅~記念碑台~D・P~水晶山~地獄谷~神鉄大池駅(阪急六甲駅へは梅田駅から神戸線で)*詳細野金氏迄

山を登る会(1992年6月発足)リーダー: 野金孝俊(98)中林照夫(00)田中昭夫(09) 堀田晴美(18)黒岡美香(18)当山清之(21) 長谷川悟(22)山﨑龍也(23)

(リーダー就任順)

連絡先 : 田中 昭夫

〒564-0027 吹田市朝日町 5-31-1003 TEL/FAX:06-6382-6715

e-mail:<u>a.r.tanaka@h2.dion.ne.jp</u>

上記 e-mail にあなたのアドレスを登録 下さい。毎週 e-mail にて例会案内等 情報連絡します。

メルアド登録400人超!

H/P アドレス変更 : 新アドレス

http://yamaonoboruk.stars.ne.jp/

*H/Pは"山を登る会"でも検索可能

緊急連絡先:090-6668-1159

1289 回 1 1 月 2 3 日(日) TN 近鉄二上駅南口 9:30集合 駅〜道の駅〜国見の丘〜染野三角 点〜W/C〜雌岳〜岩屋峠〜原岳〜 皿ヶ谷三角点〜麻呂子山〜公園〜 二上駅(二上駅へは鶴橋駅から大阪線急行 で河内国分駅乗換等で) *詳細田中迄

1303 回1 0月14日(日) TN 能勢電妙見口駅 9:30集合 駅〜新ルート〜高代寺熊舎〜高代 寺山〜しらかば公園〜三角点〜能 勢電山下駅(能勢電妙見口駅駅へは梅田 駅から宝塚線急行で川西能勢口駅乗換等 で) *詳細田中迄

- 〇山を登る会では 2026 年度の山行計画を立案中 リクエストがあれば連絡下さい。下見の上採否決 定します!
- 〇先頭リーダー募集中! 自薦他薦不問! (下見要領、シール貼付等懇切丁寧に教えます!

○急登の 厳しさ癒す 高野帚(昭十) ○振り返る 山に山あり 山の中(昭十)

- ○振り返る 山に山めり 山の中(昭十) ○鶯と 合唱しつつ 山下る(昭十)
- ○啄木鳥の 音に驚き 振り仰ぐ(昭十)
- 〇山頂の 飯に子栗鼠の お出迎え (昭十)